

【3級・解説】

リスニング

PARTE IV (N11 – N13)

N11 b 【正答率】98.7%

F1: Luisa, devi assolutamente provare la nuova gelateria che hanno aperto in piazza Marconi!

F2: Perché, che cos'ha di speciale? Il gelato lo fanno così buono?

F1: Buono è buono, ma sono le coppe che preparano che sono fantastiche! Prima di tutto enormi, poi...

F2: Quelle tutte piene di biscotti, ombrellini, bandierine?

F1: No, no! Ieri ne ho ordinata una che si chiamava Sandokan! Me l'hanno servita in una coppa di vetro, di quelle alte. Dentro c'era del gelato gianduia e sopra tanti tipi di frutta... Decorazioni, tutte fatte con la frutta, a forma di foglie, di... E in mezzo, una rosa fatta con una pera! Fantastica!

【訳】(女 1)ルイーザ、あなた、マルコーニ広場に開店した新しいジェラート店をぜひ試してみるべきよ！(女 2)どうして？どんな特別なものがあるの？ジェラートをそんなにおいしく作っているの？(女 1)おいしいことはおいしいけど、すばらしいのは、彼らが作るカップジェラートなの！何よりもまず巨大だし、それに……(女 2)あのビスケットや、ミニチュアの傘や旗ですっかりいっぱいになってるやつ？(女 1)違う、違うわ！私は昨日、サンドカンっていう名前の注文したの。ガラス製のカップに、例の背の高いのに入れて出してくれたのよ。中にはジャンドウイア・ジェラートが入っていて、上にはたくさんの種類のフルーツが載っていたわ……デコレーションは全部フルーツでできていて、葉っぱの形だったり……それから真ん中には洋ナシでできたバラの花！みごとなのよ！

N12 a 【正答率】64.8%

F: Vestitino nero sopra il ginocchio, giubbotto nero di pelle corto in vita, collant neri, tacchi altissimi, borsetta al braccio e capelli raccolti in un morbido chignon. Ecco come si è presentata la splendida Isabella Ferrari a una sfilata di moda a Parigi.

【訳】(女)ひざ上丈の黒のミニドレス、ショート丈の黒のレザージャケット、黒のタイツ、非常に高いヒール、腕にはハンドバッグ、柔らかいシニヨンにまとめた髪。これが、すばらしいイザベッラ・フェッラーリがパリでのファッションショーに現れた姿です。

N13 c 【正答率】61.5%

F: Corrado, guarda un po' cos'ho trovato stamattina in un cassetto del mobile del salotto...

M: Oh! Guarda dov'erano finiti! Li ho cercati dappertutto!

F: Chissà da quanto erano lì...

M: Eh, da tanto. Erano quelli che uso per leggere e per scrivere. Ho dovuto farmene fare un altro paio!

【訳】(女)コッラード、今朝私が応接間の家具の引き出しの中に何を見つけたか、ちょっと見てよ……(男)あれ！そんなところに消えていたんだ！僕はこれをそこら中探し回ったのに！(女)いつからそこにあったのかしらねえ……(男)ああ、ずいぶん前からだよ。読んだり書いたりするのに使うやつだったんだ。もう1つ作ってもらわなければならなかったんだよ！

PARTE VII (N23 – N28)

Primo ascolto (N23-N25)

F: Se non amate le lasagne, sappiate che fate parte di un gruppo di persone davvero ristretto. Ovunque andiate nel mondo, infatti, esse rappresentano (assieme alla pizza e alla pasta in generale) uno dei piatti italiani più apprezzati, da grandi e piccoli senza alcuna distinzione.

Nella prima parte del nostro programma, vi proponiamo, per non dimenticare le basi e la tradizione, la versione originale di questo popolarissimo piatto, quella che le nonne bolognesi erano solite preparare la domenica o nelle feste.

In seguito vi suggeriremo invece delle possibili versioni alternative, alcune sicuramente più leggere o adatte a chi segue una dieta vegetariana, come quelle con radicchio e noci o con zucca e spinaci. Provatele tutte e fateci sapere qual è la vostra preferita!

【訳】リスニング 1 (N23–N25)

(女)もし皆さんがラザーニェを好きでないとすると、皆さんは本当に限られた少数派に属しておられるとご承知おきください。事実、世界中どこに行っても、(ピッツァやパスタ全般とともに)ラザーニェは、いかなる別け隔てもなく大人からも子供からも、最も評価されているイタリア料理のうちの1つになっています。

私たちの番組の前半では、基礎と伝統を忘れないために、この非常に人気のある料理のオリジナル版、ボローニャのおばあさんたちが日曜日や祝祭日に作るのが習慣だったものを提案してお見せします。

その後で、逆に、考えられる代案を提示してお見せします。いくつかは、チョコリとクルミ入りか、カボチャとホウレンソウ入りのもののように、確実にずっと軽くて、ベジタリアン・ダイエットに従っている人にもぴったりです。全

部お試しになって、どれが皆さんのお気に入りかを教えてくださいね！

	VERO	FALSO
N23 Poche persone non amano le lasagne	a	b
N24 Le lasagne sono un tradizionale piatto bolognese	a	b
N25 Nelle lasagne ci vuole sempre un po' di carne	a	b

N23 a 【正答率】44.3%
【訳】ラザーニエを好きでない人はほとんどいない

N24 a 【正答率】78.0%
【訳】ラザーニエはボローニャの伝統料理である

N25 b 【正答率】74.8%
【訳】ラザーニエには常に少量の肉が必要である

Secondo ascolto (N26-N28)

M: Cristina, allora è deciso: domani ci andiamo insieme a teatro. Ci vediamo davanti al tuo ufficio?

F: Mah, non so...Domani finisco di lavorare presto. Pensavo di tornare a casa, di fare una doccia e cambiarmi. Possiamo vederci direttamente davanti al teatro...

M: No, davanti al teatro? Dai, c'è sempre un mucchio di gente... No, senti, facciamo così: passo a prenderti a casa, andiamo in macchina.

F: Mah, se per te non è un problema...

M: No, figurati, anzi... Per me è meglio così.

F: Beh, allora a che ora passi?

M: Senti, lo spettacolo comincia alle 21:00. Verso le 20:15 ti andrebbe bene?

F: Sì, perfetto.

リスニング 2 (N26-N28)

【訳】(男)クリスティーナ、じゃあ確定だね、明日は一緒に劇場に行こう。君のオフィスの前で会おうか？(女)うーん、どうかなあ……明日は仕事が早く終わるの。私は家に帰ってシャワーを浴びて、着替えようと思っていたんだけど。直接劇場前で会ってもいいんだけど……(男)だめだよ、劇場前でだって？ほら、あそこにはいつも人がいっぱいいるし……いや、ねえ、こうしよう。君を迎えに寄るよ。車で行こう。(女)どうかなあ、もしあなたにとって面倒でないのなら……(男)いや、とんでもない、それどころか……僕

にはそのほうがいいんだ。(女)そう、じゃあ何時に寄ってくれる?(男)ねえ、公演は 21 時に始まるよ。20 時 15 分頃で君の都合はいいかなあ?
(女)ええ、申し分ないわ。

	VERO	FALSO
N26 Cristina non sa se vuole andare a teatro	a	b
N27 Prima di andare a teatro pensa di passare da casa	a	b
N28 Lui passerà a prenderla in ufficio	a	b
N26 b 【訳】クリスティーナは劇場に行きたいのかどうかわからない		【正答率】68.9%
N27 a 【訳】彼女は劇場に行く前に家に寄ろうと思っている		【正答率】84.3%
N28 b 【訳】彼は彼女をオフィスに迎えに寄る予定である		【正答率】74.6%

筆記

PARTE I (N29 - N49)

N29 d 【正答率】34.8%
 【訳】日本人は温泉に行くのが大好きです。【解説】terme「温泉」は女性複数名詞です。複数形しか存在しない特殊な名詞です。したがって、定冠詞も女性複数形の *le* になるので、「温泉に行く」は *d)* の *andare alle terme* になります。a) のように無冠詞で *a terme* のような言い方は通常しません。

N30 b 【正答率】51.3%
 【訳】もしパオラが寒がっているのなら、私のマフラーを彼女に貸します。
 【解説】文脈から判断して、「私のマフラーをパオラに貸す」と言っているのは明らかなので、「パオラに」の代わりをする代名詞を選ばなければなりません。したがって、間接補語人称代名詞の *le*「彼女に」が適切です。a) の *la* は直接補語人称代名詞の「彼女を」、c) の *gli* は間接補語人称代名詞の「彼に」、d) は間接補語人称代名詞の「私たちに」などに当たるものなので、いずれも不適切です。

N31 b 【正答率】70.4%

【訳】ほら、あれが私が君に話した店です。【解説】関係節の *ti ho parlato* 「私が君に話した」と先行詞 *il negozio* 「店」との関係を考えて、先行詞が話題の補語になっていることが分かります。動詞 *parlare* が *parlare di* + 名詞(代名詞) > という形で「～のことを話題にする」という意味で用いられることを考慮すると、ここに入る関係詞には話題を示す前置詞 *di* 「～のことを」を添えることが必要になります。前置詞とともに用いる関係代名詞は *cui* なので、b) の *di cui* が適切です。

N32 a 【正答率】16.5%

【訳】キアンティとバローロは世界で非常に知られているイタリアの赤ワインです。【解説】文脈から判断して「世界で非常に知られている」と言っているのは明らかなので、副詞 *molto* 「非常に」を使った *molto conosciuti nel mondo* という形が適切です。副詞には性数変化はないので、b) の *molti* は不適切です。c) や d) のように *più* を用いて相対最上級にする場合は、部分冠詞の *dei* を定冠詞の *i* に変えて、*sono i vini rossi italiani più conosciuti del mondo* 「世界で最も知られているイタリアの赤ワインです」という形にしなければなりません。

N33 c 【正答率】55.2%

【訳】ほら、アントニオ、起きなさい！学校に遅刻しますよ！【解説】再帰動詞 *alzarsi* 「起きる」は、必ず再帰代名詞を伴います。「アントニオ」と名前呼びかけているので、親称の *tu* を使った会話になります。文脈からここには命令法が来ることは明らかなので、親称の *tu* に対する命令法にしますが、その場合、再帰代名詞の *ti* は動詞の後ろに付けなければなりません。したがって、c) の *alzati* が適切です。

N34 b 【正答率】49.3%

【訳】私は君にはそのことを言うけど、君はそのことを誰にも言わないでくれ、くれぐれも頼むよ！【解説】親称の *tu* に対する否定命令「～するな」は *non* + 不定詞 > の形を取ります。「私は君にそのことを言う」と対比する形で「君はそのことを誰にも言うな」と命令しているので、「そのことを」を意味する中性代名詞の *lo* を繰り返す必要があります。したがって、b) の *tu non dirlo a nessuno* が適切です。a) と c) では他動詞 *dire* 「～を言う」の直接補語がなくなってしまうので、d) では *a nessuno* 「誰にも」と *mi* 「私に」という2つの間接補語ができて矛盾してしまいます。

PARTE III (N59 – N65)

【訳】「時は金なり」と言いますが、飲食でなく時間に対して支払いをするバー「アンティカフェ」では、本当にそうなのです。ローマのサン・ジョヴァンニ地区のヴェイオ通りで開業して、すでに商標登録されました。そのアイデアは新しいものではなく、他の国々でも同じようなタイプのものが存在し

ています。パリで知り合った 20 歳から 30 歳までの 3 人の友人、ブルガリア人 2 人とイタリア人 1 人が、ローマで投資したのです。まず彼らは、銀行からの融資のおかげもあって、フランスの首都に 2 軒の店を出すことができ、それから、3 人のうち 2 人が住んでいるイタリアに場所を移しました。彼らは、中心街の観光客の群れからは離れているが、地下鉄がすぐ近くにある、人口の多い地区を選びました。やり方は次のとおりです。入店し、席につき、仕事するか勉強するかし、遊ぶか単におしゃべりするかし、飲食はしたい場合にのみします。飲食は時間当たりの料金に含まれています。2 つの無線 LAN、プリンター、スキャナ、プロジェクター、床面にもあるコンセント、スナック、ドリンク類(ノンアルコール)、食べ物を温めるための電子レンジとトースターが自由に利用でき、そうしたければ食べ物は家から持ち込むこともできます。「あらゆる面から見てフレンドリーな店なんです」と、3 人の事業経営者の 1 人である 24 歳のダリアは言います。「私がミラノで勉強していたとき、家では全然集中することができなかったのも、家の下にあるバールで一日を過ごしたものです。コーヒーや、カップッチーノや、パニーノを注文していたのですが……最終的に 1 日に 30 ユーロの飲食代になったものです。飲食しないと、にらまれるんです。こうして私たちにはこのアイデアが浮かんだのでした」と語っています。店の雰囲気は、小テーブルに座って長時間とどまりながら 1 杯のコーヒーを飲む「スターバックス」カフェに似ています。料金は次のとおりです。最初の 1 時間が 4 ユーロで、分割不可。それ以後は 1 時間で 3 ユーロ(10 分に細かく分割できる)、1 日料金は 14 ユーロ、1 か月の定期料金は 200 ユーロ。カウンターにはカフェテリアのサービスもあり、急いでコーヒーを飲むためだけに来店する人なら 4 ユーロを払う必要はありません。開店時間は週 7 日中 7 日、平日は 9 時から 23 時まで、週末は 10 時から 23 時までで、予約できます。食べ物は質と品ぞろえにこだわっており、20 種類のお茶と職人が作ったスイーツを備えています。現在店はいつも人でいっぱい、3 人はすでにミラノにも開店することを考えているところです。適当な場所を見つけるだけでいいのですが、ローマとは違って、歴史的な中心街の中になる予定です。

(電子版《ラ・スタンパ》紙 2014 年 9 月 6 日付記事に加筆)

N59 a 【正答率】80.2%
【訳】「アンティカフェ」では客はバールで過ごす時間に対して支払いをする

N60 b 【正答率】85.4%
【訳】3 人の若い事業経営者のうち 1 人はフランス人である

N61 b 【正答率】67.0%
【訳】彼らが使うコーヒーは「スターバックス」カフェのものである

N62 a 【正答率】83.3%
【訳】家から食べ物を持ってきたい人はそうしてもよい

N63 b 【正答率】73.5%
【訳】カウンターでコーヒーを1杯飲むのも4ユーロする

N64 b 【正答率】93.3%
【訳】「アンティカフェ」は日曜日のみ閉まっている

N65 a 【正答率】69.1%
【訳】3人はミラノの中心街にも店を1軒開きたいと思っている

作文

PARTE IV

N 66

【訳】「今日、ホテル・アストリアには……」このイラストを描写してください(80語から100語の間で)。

【模範解答例】

Oggi all'hotel Astoria ci sono tanti turisti. C'è un signore americano davanti all'ascensore. Un cane vuole mangiare il gelato di un bambino. A un tavolo un signore parla con sua moglie di dove andranno oggi, mentre il loro piccolo figlio sta giocando. Una donna delle pulizie guarda male il bambino perché sta sporcando per terra.

Un signore abbastanza grasso ha tante valigie che sembrano pesanti. Un gruppo di turisti accompagnato da una guida è appena arrivato. Al bancone una commessa sta parlando al telefono per la conferma di una prenotazione e un commesso parla con un ragazzo alto.(100 parole)

【訳】今日、ホテル・アストリアにはたくさんの観光客がいます。エレベーターの前にはアメリカ人の男性がいます。1匹の犬が、男の子のジェラートを食べたがっています。あるテーブルでは、男性がその奥さんと、今日はどこに行く予定かを話しており、その間彼らの幼い息子は遊んでいます。床を汚しているところなので、清掃の女性は、その子をにらみつけています。

かなり太った男性が重そうに見えるスーツケースをたくさん抱えています。ガイドに付き添われた観光客の一团がたった今着いたところです。カウンターでは女性従業員が予約の確認のために電話で話しているところで、男性従業員は背の高い青年と話しています(100語)。